

昭和52年

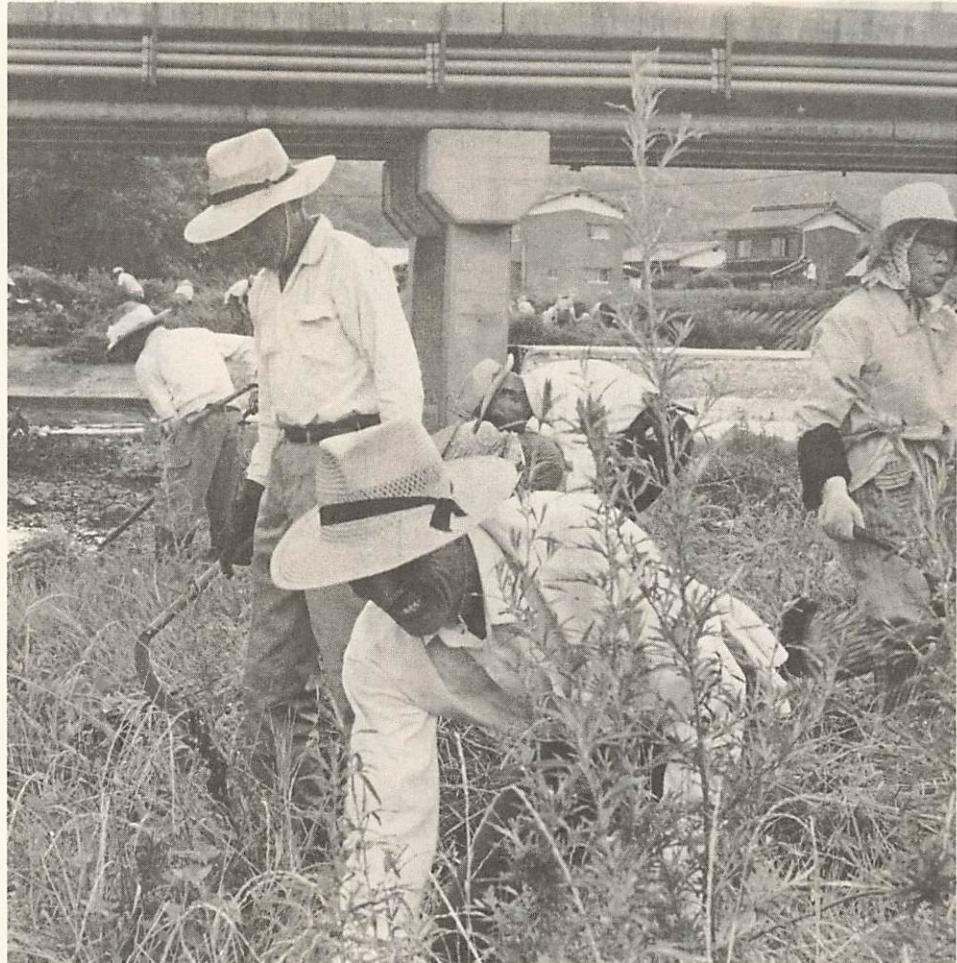
市報

# やまぐち

9月1日

草刈り奉仕  
川も「ああ、さっぱり」

宮野明郎会  
宮野明郎会



(会長山本秀夫)では、八月九日午前八時から会員百二十人が集まって、構野川上流の、宮野初音橋付近約三百㍍の川の中の草刈りをしました。地区の中心部の川が汚れていると地区的人がゴミを捨てるもとなるという人がこのときつかけ。背丈ほどに伸びたヨシやヨモギも約二時間できれいに刈り取られ、川もさっぱりし、草刈り奉仕をおえたお年寄りの表情も「さっぱり」としていました。

九月十五日は「敬老の日」です。家庭や地域では、お年寄りに感謝し、励ます計画もあることでしょう。

お年寄りの幸せは、存在意義を自覚しうる生きがいの気持と、周囲の人から暖かく接せらされることであるといわれます。

九月十五日は「敬老の日」です。家庭や地域では、お年寄り自身が、生きがいを求めるには、周囲はお年寄りの気持をくんで接するには、地域で、またお年寄りから若い人まで考へる日にしたいものです。

「9月15日」—敬老の日



無料開放

老人憩の家 寿泉荘・嘉泉荘

。日時 九月十三日午前十時三十分から正午まで  
。会場 市民会館大ホール  
大会は長い間老人クラブなどのお世話をした人の表彰、小学生による敬老のことば、意見発表、大会の宣言などです。

▼演芸▲

十二時三十分から

第十一回  
**老人福祉大会**

老人クラブの競演で演芸会を開きます。

▼老人クラブ会員 製作品展示即売▲

当日、市民会館ロビーで、老人クラブ会員の書画、木工、竹・わら製品、手芸品など午前九時から午後三時まで、即売会が行われます。

**敬う心に、暖かい交わり**

六十歳以上のお年寄りに、九月一日から三十日まで、一人一回かぎり、老人憩の家寿泉荘(湯田温泉五丁目)、嘉泉荘(嘉川)を無料で開放します。  
なお、利用のときは必ず、利用券を持参してください。  
(写真は寿泉荘での入浴)



(3)

## 昭和51年度決算見込み

**104億8,069万円** 一般会計歳出額  
昭和51年度財政報告

市財政の赤字解消と建て直しを最重点に運営してきました。五十一年度会計は、五月末日で閉鎖しました。

このうち、一般会計決算見込みは、財政健全化の方策を進めたことや起債がついたことで、五十年度一億二千二百余万円の赤字を解消し、六千七百余万円の黒字となりました。

五十二年度の決算見込みと主な施策は、次のとおりです。



市道整備は小出線、自衛隊線などの新設改良や舗装事業、同和事業で陶五号、高松三号線の改良をしました。街路事業は三本の路線を継続してすすめ、このうち石瀬音伊勢橋線は全線改修を完了しました。

不燃物処理場が完成

## 生活環境

公共下水道（特別会計）は、終末処理場の設計、管きよの布設が年次計画にそって進行。歩道橋や歩道などの交通安全施設も整備しました。住宅は同和事業で改良住宅を設置しました。大変困っていた不燃物の処理場を二島公有水面一万八千平方メートル確保しました。

## 就労あっせん 手話通訳者の養成

福祉

老人の就労あっせん事業や老人クラブ活動補助、バース代の補助を行い、福祉電話を二十台設置しました。

二島のガレキ処理場  
五年間は大丈夫という

## 一般会計款別決算見込額 (単位 千円)

款	予算現額	決算見込額	差引増減
市方税金等	3,771,538	3,857,309	85,771
譲与税金等	115,000	107,477	7,523
施設利用料金等	16,000	22,157	6,157
自動車取扱税金等	160,000	126,202	33,798
在市町村助成金	3,000	4,571	1,571
方税金等	1,418,000	1,421,445	3,445
施設交付金等	18,000	16,280	1,720
施設交付金等	107,820	110,047	2,227
特別交付金等	144,207	159,994	15,787
交付金等	1,996,332	1,814,767	181,565
交付金等	571,389	556,007	15,382
交付金等	394,347	395,692	1,345
交付金等	25,026	18,789	6,237
交付金等	7,409	10,798	3,389
交付金等	9,166	0	9,166
交付金等	428,585	433,429	4,844
交付金等	1,968,049	1,493,330	474,719
交付金等	11,153,848	10,548,294	605,574

款	予算現額	決算見込額	不 用 額
議員報酬	116,728	115,501	1,227
会務費	2,233,871	2,067,724	166,147
生産費	2,144,344	2,079,241	65,103
林業費	716,603	693,302	23,301
害虫防除費	79,234	74,397	4,837
水工費	572,879	530,696	42,183
木工費	290,037	286,683	3,354
防護費	1,812,193	1,566,779	245,414
教育費	300,752	297,737	3,015
施設費	1,360,202	1,336,268	23,934
保育費	284,957	261,522	23,435
保健費	754,083	694,704	59,379
福利費	353,643	353,254	389
施設費	130,000	122,882	7,118
助成金	4,342	4,342	4,342
諸経費	11,153,868	10,480,690	673,178

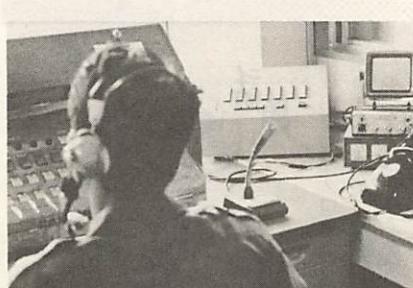
(歳入歳出の予算現額は、緑越額 158,458千円を含む)

## 特別会計決算見込額

(単位 千円)

会計別	予算現額	歳入決算見込額	歳出決算見込額
仁保鮎内敷川歲	28,892	27,818	27,170
大吉平大陶鑄名秋嘉佐國川尾山健簡易道	2,842	2,846	2,318
小大吉平大陶鑄名秋嘉佐國川尾山健簡易道	11,272	11,279	10,762
大吉平大陶鑄名秋嘉佐國川尾山健簡易道	4,232	3,827	3,343
大吉平大陶鑄名秋嘉佐國川尾山健簡易道	3,079	2,623	2,354
大吉平大陶鑄名秋嘉佐國川尾山健簡易道	252	275	115
大吉平大陶鑄名秋嘉佐國川尾山健簡易道	1,231	1,415	1,050
大吉平大陶鑄名秋嘉佐國川尾山健簡易道	1,396	2,225	1,148
大吉平大陶鑄名秋嘉佐國川尾山健簡易道	302	257	207
大吉平大陶鑄名秋嘉佐國川尾山健簡易道	737	738	492
大吉平大陶鑄名秋嘉佐國川尾山健簡易道	7,139	6,626	5,703
大吉平大陶鑄名秋嘉佐國川尾山健簡易道	11,192	11,167	11,103
大吉平大陶鑄名秋嘉佐國川尾山健簡易道	1,863,189	1,894,189	1,799,598
大吉平大陶鑄名秋嘉佐國川尾山健簡易道	42,180	36,153	36,153
大吉平大陶鑄名秋嘉佐國川尾山健簡易道	4,026	3,468	3,468
大吉平大陶鑄名秋嘉佐國川尾山健簡易道	202,471	202,540	200,575
大吉平大陶鑄名秋嘉佐國川尾山健簡易道	89,138	69,309	63,816
大吉平大陶鑄名秋嘉佐國川尾山健簡易道	42,668	38,948	38,948
大吉平大陶鑄名秋嘉佐國川尾山健簡易道	597,788	578,309	578,309
大吉平大陶鑄名秋嘉佐國川尾山健簡易道	30,000	14,000	14,000
大吉平大陶鑄名秋嘉佐國川尾山健簡易道	120,566	120,141	120,141
大吉平大陶鑄名秋嘉佐國川尾山健簡易道	3,064,592	3,028,153	2,920,773

(と畜場特別会計の予算現額は緑越額 24,633千円を含む)



## 平川小校舎新築

## 教育

## 第二次機構改革 財政健全化を推進

教育施設整備では、平川小学校用地取得や新增築、大歳小屋内運動場改築、大内小・宮野小中の中のプレハブ校舎新築を行いました。このほか、潟上中プロ建設や宮野小の排水改良工

市民ホールを建設しました。また、議事堂、レン吹鳴一括指令方式（写真）をつくりました。また、議事堂、市民ホールを建設しました。

第二次機構改革で、職員を三

十人削減し、八出張所に高速模

写電送設備や消防署からのサイ

レン吹鳴一括指令方式（写真）を

事を行いました。



## 夏バテの程度?

- ・食欲がない
- ・あぶらこいものがきらい
- ・ねつきがわるい
- ・熟睡ができない
- ・やたらにコーラ、ジュースが飲みたい
- ・水虫がひどい
- ・下痢をしやすい
- ・下半身がだるい
- ・仕事に対し集中力がない
- ・アセモ、カブレができる
- 該当が2つ以内なら軽度、3から4つは中度、5つ以上なら重症というところです。  
(保健婦さんの試作テスト)

自らの健康を考えるという意味で、地域ぐるみで健康とり組む佐山地区の事例と、過去十年間の死亡の原因、市の保健婦さんにきいた「健康十則」を紹介します。

自分の体を見直して、故障があれば、生活や治療で直してみんなで幸せな生活を送りたいものです。

――あなたの――

## 今月のテーマ

## 康

夏の暑さにまいった体を、秋は回復するときです。また、九月は、病気で最もおそろしいガ

ンの征状月間であります。

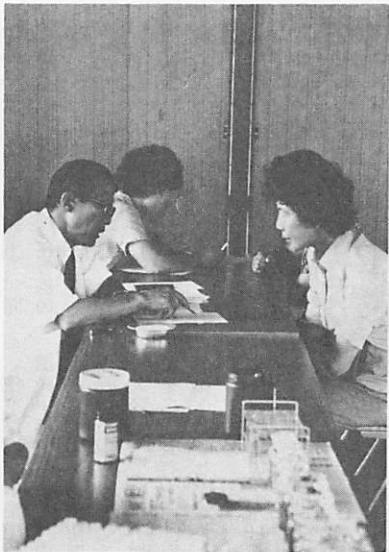
私たちの幸

で、何をおいても忘れてはならないものが健

康です。



## 「健康」にとり組む ――佐山地区――



7月5日・佐山地区健康診断  
1回平均70人以上の人人がつめかけ健康への関心は高い。

は組合員の健康を考へる。そしてそれそれが検診などの手を地区の人にさしのべる。ところが「連携」が悪く、ガン検診が続いているときもある。地区民の対外機関との「受け皿」づくりと地区的人の健康への「感度」を高めることが設立の趣旨でした」と推進役の一人藤本春子さんは、市内では佐山だけ、県内でも珍らしいという。

## 血液検査から取り組み

検診のほかに、独自の活動で血液検査、検尿、検便、井戸水調査などが行われてきました。

特に血液検査の結果、二十一歳から四十歳までの母さんの三十七割が貧血という結果にみんなびっくりしたといいます。検査結果は、本人はもとより、地区民へ注意を促すとともに、

優良校県一になったのも、「地域ぐるみの活動の成果」が認められたことも、一つの大きな要素でした。

五十一年度佐山小学校が健康優良校県一になったのも、「地域ぐるみの活動の成果」が認められたことも、一つの大きな要素でした。

検査結果から、巡回検診日程や医療講話や農薬、食生活改善などの講習、講話を主婦を中心にくんでいき、特に農業問題にとりくんだ佐山生活学校は、そこの「啓発」に大きな成果を収めました。

五十一年度佐山小学校が健康優良校県一になったのも、「地域ぐるみの活動の成果」が認められたことも、一つの大きな要素でした。

検査結果から、巡回検診日程や医療講話や農薬、食生活改善などの講習、講話を主婦を中心にくんでいき、特に農業問題にとりくんだ佐山生活学校は、そこの「啓発」に大きな成果を収めました。

## 検診助成を制度化する

発足以来七年目、地区の人の健康に対する関心も高まってきたという。

健康対策部会長本永正夫さんは、「健康は一人一人が自分で健康であるものかもしれません。しかし、みんなで考え、実践すればより成果があり、また、関係機関の健康づくりの援助を地

区民が一本で受けとめるという組織の利点もあります」と話しておられます。

五十二年度佐山地区健康対策部会予算は、二十八万円計上し各種検診の個人負担を五百円均一にして、助成を部会と農協が制度化しています。

「地域ぐるみ」の健康への取り組みは、静かに浸透しています。



## カンナの花咲く道

昭和三十八年、国民体育大会開催にあたり、『国体へまごころいっぱい花いっぱい』

のかけ声で、県下には花いっぱい運動がさかんになりました。

国道、県道の側面土手に

もカンナが植えられ、遠来の選手や観覧者たちは、その美しさとアイデアをほめたといいます。

カンナは夏から秋にかけて、野外の光景に色どりを添える代表的な花です。国道からだけでなく、山陽本線の車窓からも間近に見られます。

## 北から南から



## 松くい虫

## 情

## 無

## 話題

## 松くい虫

(5)



—力いっぱい走る—

天高く、地上には実りの喜びがみちる秋になりました。健康とスポーツと勉強のための好季節です。

## —9月のこと—

**■防災の日** 1日 災害は忘れたころにやってくる。防災の日は大正12年9月1日に起った関東大地震を記念したもので、これは台風、高潮、地震、水害などの災害についての認識を深めこれに対処する心構えを平常から準備することを目的としています。

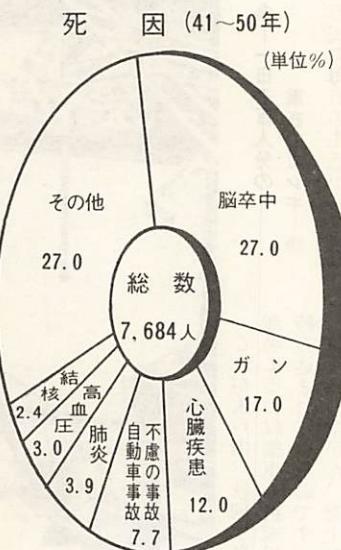
近頃、大地震に対する不安が全国的にあります。地震のときはどうするか、今一度家族で話し合っておきましょう。

**■スポーツの秋** 4日 第14回市民体育大会が、県陸上競技場などで開かれます。選手だけでなく、多くの人の声援を願います。また同日は、その隣接の維新百年記念公園で青空天国いこいの広場が開催されます。子どもからお年寄りまで楽しめるレクリエーションが計画されていて、皆さんの参加を待っています。

また、9月下旬から10月にかけて市内小中学校は運動会です。グランドいっぱいにくりひろげる力いっぱいの競技は、気持ちのよいものです。

**■台風** 1日は二百十日、11日は二百二十日で台風シーズンです。暴風雨に対する防備を充分にしておきましょう。

・15日 敬老の日 ・23日 秋分の日  
・27日 仲秋の名月



昭和四十一年から五十年までの乳児を除く山口市民の死者は、七千六百八十四人で、その死因の実に五十七割は、脳卒中、ガン、心臓疾患で、いかに成人病、現代病とよばれるこの病気がおそろしか表示しています。

この病気は、四十歳代からジワジワと昇傾向をとり、六十歳代では普遍的にみられます。この病気がおそれられるこの病気は、四十歳代から六十歳代では普遍的にみられることを示しています。

いかに、成人病が健康の大敵であるかを過去の統計は如

実に物語つており、これの対

応こそ、健康の第一策であることを教えてください。

## 脳卒中・ガン・心臓疾患死因の五十七%を占める

■安全体重  
男子は身長から百十、女子は百を引いた体重が適当。肥りすぎは健康への黄・赤信号です。

タバコは一日二十本以内、そ

れも胃や心臓、皮膚が病気なら

有毒です。お酒は一日

一合程度なら健康促進につながる場合もあります。

■睡眠  
一日八時間程度必要

ぐっすり休んで、すつきりした目覚めを。

■栄養バランス  
朝食に卵、チーズな

どの動物性食品を、夕

食は一汁三菜程度で、

栄養のバランスを考え

た食事を。店屋のも

ので、まともな栄養食

はまず無理。

■生活態度  
怒り、イライラなど興奮しな

い生活を。パッと気分の転換

ができる趣味や道楽のあること

も健康には必要。

■自衛の心  
異常がなくとも、集

団検診などは、積極的に受けましょう。

「検診の結果がおのぞ

ろしい」より受けないほうがな

お「おぞろしい」のです。

二十歳代から人間すべて、機

能低下、自衛、自覚する心が大

切です。

## 健康10則

### —保健婦メモから—

人は一日八歩くらい歩くこと

が、健康への要素。歩くことを

生活にとり入れよう。

戸外でのレクリエーション、

また体に適したスポーツも健康

増進に大いに役立つ。

■風呂  
熱い風呂は大敵、ぬ

るめの風呂で、長湯はさける。

■便通  
熱い風呂は大敵、ぬ

るめの風呂で、長湯はさける。

■便通  
便通は規則正しくほし

いもの。

江戸時代、萩から山口への六ツ半に出足、朝六ツ半時に到着する。坂ノ子の自宅に着いた。ところが、これが二体立っています。

司まで、夜道を八丁峠を越して、十二時間かかる歩いたことがわかります。峠には石仏が二体立っています。

江戸時代、萩から山口への主要街道でしたが、あまり利用されませんでした。近頃はバス道として利用されましたが、バス道として利用されませんでした。改修された後は廻道

同様となっています。

江戸時代、萩から山口への主要街道でしたが、あまり利用されませんでした。改修された後は廻道

同様となっています。

江戸時代、萩から山口への主要



## ▶足がしひれる一縁の集い

8月4日から1泊2日で、小鯉の子どもたちは禅昌寺で「縁の集い」を開きました。

座禅を組んで、沈思默考、でも足がしひれましたが、気持はすっきりしました。



## ▲今年こそ、泳げるようになるぞー

泳げない子のため、市水連主催で水泳教室が、湯田小、大内小で2回開かれ、いずれも申込みを断わるほどの大盛況でした。

参加した子どもたちは、今年こそ泳げるようになると、懸命にガンバっていました。



## ▲今夜の献立はカレー

中央地区の子ども会も8月9日から2泊3日で木戸神社でキャンプしました。

自分たちで作ったカレーライスを味わいながらお母さんの味、をちょびりかみしめました。



## ▼踊りの輪の中で……

盆踊りが各地でさかんに行われるようになりました。子どもたちもみんなと一緒に踊りの輪の一翼をになって、夏の夜を楽しみました。(写真は平川盆踊り大会で)



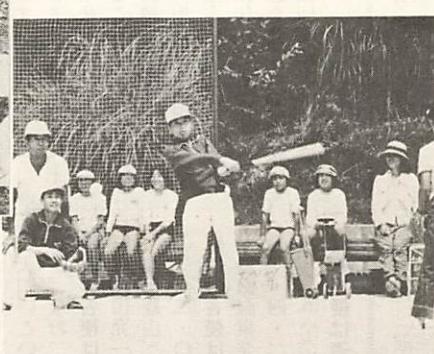
猛暑の続いたこと  
しの夏でした。  
暑さにも負けずに  
元気よく、楽しく過  
す子どもたちの「表  
情」をカメラは追  
いました。



## ▲本格的な体操に取り組む

8月6日から宮野地区の子どもたち30人がマット運動、鉄棒などの体操に、取り組みました。

体操を通じ、平衡感覚などを養ないうと宮野公民館が開いたもので、鍋井邦久さん(美祢高)の指導で、とんだり、はねたり、体操の基本を勉強しました。



## ▲炎天下のホットな試合

夏休みの子どもたちの最大関心事球技大会が炎天下でホットな試合をくりひろげました。

(写真は銚金司地区子ども会球技大会)



同和問題を考える

前回は、同和問題に対する母親のあり方が話題の中心になりました。統いて、ある婦人は自分の気持ちを次のように訴えました。「地区の人は、いつも心の中に、自分たちは差別されているのではないか」という意識がはたらく。

差別を膚で感じるというか、ちは差別されているのではないかといふ意識がはたらく。

母親のあり方が話題の中心になりました。統いて、ある婦人は自分の気持ちを次のように訴えました。「地区の人

は、いつも心の中に、自分た

ちは差別されているのではないかといふ意識がはたらく。

母親のあり方が話題の中心に

なりました。統いて、ある婦

人は自分の気持ちを次によ

うに訴えました。「地区の人

は、いつも心の中に、自分た

ちは差別されているのではないかといふ意識がはたらく。

母親のあり方が話題の中心に

なりました。統いて、ある婦

